

# アートと人類学、 そしてその向こう

「レジリエンス」について、  
南アフリカのアーティスト、人類学者、  
そして大学院生を交えて語るトーク・イベント

2019/07/16 (火) 17:30-19:30

会場：神戸大学 鶴甲第一キャンパス4階 大会議室

お問い合わせ：toshiki.tusichitori@gmail.com 土取俊輝



# プログラム

## 第一部

【主旨説明】 梅屋 潔（神戸大学）

【基調講演】 マーロン・スワイ（ケープタウン大学）「アートと人類学のあいだ」（仮）

【トーク・イベント】

ベルニ・サール、フランシス・ニヤムンジョ、マーロン・スワイ、ハリー・ガルルーバ、  
ジョアンズ・オリヴィア、グボラハン・コーネリウス・コラウォレ（ケープタウン大学）  
土取俊輝、宮本佳和、荒木真歩（神戸大学）  
コメント：窪田幸子（神戸大学）、齋藤剛（神戸大学）、松田素二（京都大学）

## 第二部

【The Citizenship in Motion: South African and Japanese Scholars in Conversation.

Bamenda: Langaa RPCIG, 2019 出版ラウンド・テーブル】

参加予定者： フランシス・ニヤムンジョ、ハリー・ガルルーバ、マーロン・スワイ

ミンガ・コンゴ、ジョアンズ・オリヴィア（ケープタウン大学）

波佐間逸博（長崎大学）、田原範子（四天王寺大学）、梅屋潔、土取俊輝

## 登壇者について

ベルニ・サール（Berni Searle）

南アフリカのアーティスト。写真、ビデオなど、レンズを通してできあがる作品のインスタレーション、ステージのうえでの歴史、記憶、アイデンティティ、そして場所などの語りなどの作品多数。ヴァルネラビリティ、喪失、そして美の発見など感情の普遍的な側面を描き出す作家として注目を集める。ケープタウン大学准教授。

マーロン・スワイ（Marlon Swai）

ヒップホップの本場ブロンクスやブルックリン、ハーレムでフィールドワークを重ね、自らもヒップホッパーである人類学者。ケープタウン大学講師。

フランシス・ニヤムンジョ（Francis Nyamnjoh）

カメルーン出身の人類学者、作家、劇作家、詩人で、ケープタウン大学教授。「インコンプリートネス」「コンヴィヴィアリティ」などキーワードを多数提出して世界のアフリカ研究者たちを理論的に牽引している。幅広くかつ活発な執筆活動で知られる。2017年には『思想』1120号の特集「アフリカの思想」でフィーチャーされた人物のひとりとしても注目される。

ハリー・ガルルーバ（Harry Garuba）

ナイジェリア出身。ポストコロニアル思想、アニミズム論の詩人であり、文学研究家。ショインカ、アチェベなどナイジェリア人作家や、ウガンダ人作家オコト・ビテックなどについての論考多数。

- ・使用言語は英語です。通訳はありません。
- ・予約は必要ありません。
- ・障がい等で当日特別な配慮を必要とする方は、その内容をご記入のうえ、6/30までにお知らせください。なお、希望される配慮に全て添えない可能性がございますがその点、ご了承ください。その際には代替手段を提案させていただきます。

主催：R1～2年度JSPS二国間交流事業共同研究・南アフリカ(NRF)との共同研究「自然災害人的災害に対するレジリエンスの研究 日本とアフリカの民族誌から」

共催：2019年度神戸大学国際文化科学研究科研究推進センター／同センタープロジェクト「シティズンシップ概念の地域的展開と理論的展開に関する共同研究」／JSPS科研費16K04126 H28年度～32年度JSPS研究拠点形成事業(A)先端拠点形成型「日欧亜におけるコミュニティの再生を目指す移住・多文化・福祉政策の研究拠点形成」／2019年度震災復興支援・災害科学研究推進活動サポート経費「拡大するコミュニティとしての「民俗芸能」」／神戸人類学研究会